

登録コード	E4671900	開講年度	2026				
授業科目	技術科教育概論					担当教員	小倉 光明
英文授業名	Advanced Seminar in Technology Education					副担当	村松 浩幸
単位数	2	講義期間	前期	曜日・時限	月曜・3時限	対象学生	
講義室	教育NW 1 0 3			授業形態	講義	遠隔授業科目	備考
信大コンピテンシー	該当						
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素					⇔	【授業の達成目標】
	2 6 Eカリ, 2 5 Eカリ, 2 4 Eカリ, 2 3 Eカリ, 2 2 Eカリ, 2 1 Eカリ, 2 0 Eカリ						
	教育の専門家に求められる深い教養に根ざした公共的使命感や倫理観					⇔	技術教育に関する公共的な使命感や倫理観を身につけることができる
	教育活動を支え、実現する上で不可欠な専門的知識・技能					⇔	技術教育に関する基礎的な知識・技能を身につけることができる
(2)授業で学べる「テーマ」	その他						
(3)全学横断特別教育プログラム							
(4)授業の概要	・教材の違いによる教育効果を理解し、内容「C.エネルギー変換の技術」と「D.情報の技術」についての教材の分析、演習、グループによる教材製作といった、実践的・体験的に学ぶ授業である。						
(5)授業計画	第 1 回：技術の教材による教育効果 第 2 回：電気に関する既存教材の分析 第 3 回：電気に関する既存教材の演習 第 4 回：機械に関する既存教材の分析 第 5 回：機械に関する既存教材の演習 第 6 回：エネルギー変換に関する自作教材の作成 第 7 回：エネルギー変換に関する自作教材の演習と先進的实践事例 第 8 回：ネットワークを利用した双方向性のあるコンテンツに関する既存教材の分析と演習 第 9 回：ネットワークを利用した双方向性のあるコンテンツに関する教材の作成 第10回：ネットワークを利用した双方向性のあるコンテンツに関する教材の演習と先進的实践事例 第11回：計測・制御システムに関する既存教材の分析 第12回：計測・制御システムに関する自作教材の作成 第13回：計測・制御システムに関する自作教材の演習と先進的实践事例 第14回：先進的な教材研究 授業アンケート ※教育実習における1回欠席分については、次の①、②により補講する。 ①当該箇所に関する資料の自己学習 ②当該箇所に関する課題提出						
(6)成績評価の方法	・課題の成果60％，最終課題20％，課題及び授業での取り組み状況20％で評価し、総合としての成績を決定する。 ・得点率による評価基準は次のとおりとする。 90％以上 秀，89-80％ 優，79-70％ 良，69-60％ 可，59％以下 不可。 ・5回欠席 不可						
(7)成績評価の基準	・課題のレポートに対して次の観点を見る。 課題に対して，①概要が適切に説明されている。②基礎的事項が科学的理論に基づいて説明されている。③理論と実際とが比較検討されている。④理論と実際との比較から問題点と課題が把握できている。⑤自分の見解を科学的理論に基づいて創造的に考察されている。 ・①～②項目までができていれば「水準にある」 ・①～③項目までができていれば「やや上にある」 ・①～④項目までができていれば「かなり上にある」 ・①～⑤項目までができていれば「卓越している」						
(8)事前事後学習の内容	・この授業科目は30時間以上の時間外学習が必要となる。 ・予習：毎回の講義タイトルを「キーワード」として事前に概ね1時間は関連事項を調査する。 ・復習：授業時に興味をもった「キーワード」について，概ね1時間は調査，あるいは試作して確認する。 ・課題のレポート作成を通して関連知識を深める。						
(9)履修上の注意	・全ての授業回においてノートパソコンを使用する。 ・毎回の授業を確実に理解するように，不明な点は質問などを通じて解決してもらいたい。						
(10)質問，相談への対応及び連絡先	W221室						
【教科書】	・技術科教育概論（日本産業技術教育学会）九州大学出版会（2420円）						
【参考文献】	・技術・家庭科技術分野教科書（検定済み教科書）東京書籍，開隆堂						